



認知症家族教室



当院では、毎月入院患者のご家族に対し、「認知症家族教室」を開催しています。今回はH29年12月9日とH30年1月13日の両日、外来患者のご家族を対象に開催しました。

1日目は「認知症とは？その種類・経過・症状について」「認知症リハビリ できること探し 何かをする大切さ」をテーマに当院精神科医で認知症サポート医の洪医師（以下洪DR）と精神科訪問看護の千葉精神科作業療法士（以下千葉OTR）が講師を務め38名の方にご参加頂きました。

洪DRからはもの忘れと認知症の違い、症状、経過や薬物療法に関する話しを、千葉OTRからは非薬物療法にあたる認知症リハビリと退院後の在宅生活を支える精神科訪問看護の役割について話をしました。

参加者からは「進行を緩やかにできる方法があることが知れたので実践していきたい」「本人の行動を理解しようとすることで自分の接し方も変えられそう」という感想が聞かれました。

2日目は「認知症の入院治療 ご本人と家族のケア」「認知症の方が利用できる制度やサービスについて」をテーマに、認知症治療病棟の岡元看護師、病棟専従の安田精神科作業療法士と相談員の福島精神保健福祉士から講義を行い32名の方にご参加頂きました。

病棟看護師と作業療法士からは、入院中はどのような環境でどのような治療を行っているか、また適切な接し方や関わり方で認知症の症状の軽減を図っていることをお伝えしました。

相談員からは介護保険制度の仕組みとサービス内容、医療費や介護費の負担を軽減する為の制度の紹介をしました。

参加者からは「精神科の入院治療に不安があったが、取組を知って安心した」「これから介護にどれくらい費用がかかるか、様々な軽減措置があることがわかって安心した。」という声が聞かれました。

今後は年に2回定期的に外来患者のご家族へも家族教室を開催していく予定です。事前にご案内させていただきますので、診察時に主治医か外来の看護師へお声かけ下さい。